

7月2日、豊丘小学校の依頼で観光協会職員と一緒にゲストティーチャーとして、雄武町の観光の魅力について授業をしました。私と初めて会う児童たちですが、大きな声で「こんにちは」とあいさつしてくれました。子どもは知らない人を恥ずかしがると私は思い込んでいましたので、元気にあいさつしてくれて嬉しかったです。初めに行った体験型の実技では、観光協会のPR映像作成の際に使用するドローン（空撮用小型飛行機）の撮影体験をしました。集合した児童の前でグラウンドからドローンが飛び立つと、児童たちは走り回ったり、ドローンで写真・動画を撮影するために一生懸命に手を振ったりしていました。児童たちに「ドローンを飛ばしたい人」と尋ねると、多くの手が上がり、ドローンの操作に興味津々のようで、初めての体験に盛り上がった児童たちは、楽しい時間を過ごしているようでした。

真剣にメモを取る児童



地域おこし協力隊
タオ さん



児童たちからの手紙

Activity Report

地域おこし協力隊 ～活動レポート～

Kids

わんぱくキッズ（若草保育所）～大きくなったら～



Everyone's infirmary

みんなの保健室 熱中症に気をつけましょう！

8月に入り、気温の高い日が続くことが見込まれます。そこで気をつけたいのが熱中症です。新型コロナウイルス感染症予防のため、マスク着用の場面が増え、ますます熱中症のリスクが高まっています。「熱中症予防」と「新しい生活様式」を両立させていきましょう。



暑さを避ける

- 暑い日は気温の高い時間帯を避けましょう
- 涼しい服装、日傘や帽子を使いましょう
- 少しでも体調が悪くなったら、涼しい場所へ移動しましょう
- 涼しい室内に入れなければ、外でも日陰へ行きましょう



のどが渇いていなくても、こまめに水分補給

- 1時間ごとにコップ1杯の水を飲みましょう
- 入浴前後や起床後もまず水分補給を行いましょう
- 1日あたり1.2リットルを目安に水分を摂りましょう
- 大量に汗をかいたときは塩分も忘れずに摂りましょう

マスク着用時は
特に注意！



人との距離があるときはマスクを外す

マスクを着けると皮膚からの熱が逃げにくくなったり、気づかぬうちに脱水になるなど、体温調節がしづらくなっています。

- 屋外で人と2m以上離れているときは、熱中症を防ぐためにマスクを外しましょう
- 屋外で負荷がかかる作業をする人は、こまめに休憩しましょう



人との距離を十分にとり
マスクを外す
屋外で2m以上

暑さに備えた体づくりと、日頃からの体調管理

- 無理のない範囲で適度に運動（マスク着用時は、激しい運動は避ける）
- 毎朝など、定時の体温測定と健康チェック
- 体調が悪いときは、無理せず自宅で静養



高齢者、子ども、障がい者の方々は、熱中症になりやすいので十分に注意しましょう。3密（密集、密接、密閉）を避けつつ、周囲の方からも積極的な声かけをお願いします。

※環境省熱中症予防情報サイト（<https://www.wbgt.env.go.jp/>）を参考に雄武町が作成

問保健福祉課保健係